

西部青年中央会第21回通常総会開催

平成7年7月17日第21回通常総会が米子国際ホテルにおいて開催され、藤居会長の任期中最後の挨拶のあと、堀尾担当副会長が議長に選任され、①平成6年度事業報告並びに収支決算承認の件 ②平成7年度事業計画並びに収支予算承認の件 ③運営規約の一部改正の件の三議案について審議され、原案通り可決決定された。

続いて、平成5年度会長で20周年記念事業の偉業を成功裡に終えられた高田昭美直前会長に藤居会長より感謝状が贈られ、20世紀に向けて英知、友愛、団結の精神のもと西部青年中央会の歴史の糸を紡いでこられた功績を讃えられた。

また、新しく西部青年中央会に入会した6名の新入会員に藤居会長よりバッジが贈呈され、新入会員を代表して浜会員が「変革の時代を力強く生き抜くためにも中央会活動を通して切磋琢磨してゆきたい」と抱負を述べた。

その後、第20期卒業式が行われ藤居会長より、13名の卒業生一人一人に卒業証書と記念品が授与され、卒業生を代表して高田直前会長が「何にもかえられない素晴らしい経験ができた事を感謝している」と中央会活動を振り返ってお礼を述べられた。

最後に、中長期ビジョン検討委員会の柴谷委員長より、まだゆげが上がるほどのできたての中長期ビジョンのまとめが藤居会長に手渡され、藤居会長より阿部新会長に手渡

されて、「このまとめをこれからの西部青年中央会の活動に生かしていきたい」と力強いコメントを頂いて総会を終了した。

総会終了後、来賓、OBを招いての懇親会が盛大に開かれ、来賓、OBより7月17日にふさわしい機知に飛んだお言葉を頂戴し、その後、皆勤賞11名、精勤賞28名の表彰並びに、特別優秀委員会、優秀委員会の表彰がなされ、中長期ビジョン検討委員会、労務委員会が栄えある賞を受賞した。柴谷委員長、藤森委員長おめでとうございます。



8月例会案内
日時 8月17日(木) 18:30
場所 ホテルわこう
テーマ 「期待される西部 その中のJR」
講師 JR米子支社長 兵東 勇氏
担当 広報委員会

8月役員会報告
8月定例役員会が8月1日(火)、米子食品会館に於いて開催された。当日の主な議題は、次の通りです。
(1)8・9月例会開催の件
(2)OB交流会開催の件
(3)中小企業団体全国大会参加の件
(4)その他
尚、詳細については各委員長までご照会下さい。

連絡事項
社名変更 松本 啓 副会長
松本システムズ(株) → (株)ケイズ

編集後記
阿部会長の言われる「責任ある活動」大変重い言葉ではないでしょうか。
しかし、あたりまえの言葉ではないでしょうか。
広報委員会はフレッシュ委員会のフットワークで動きます。期待して下さい。

聞いてごしない Part 9

題名

今まで数々の名文士?が登場した「聞いてごしない」の欄もいよいよパート9となりました。文才のない私はこの欄を止めようとAさんに言ったところ「止めてもいいよ。でも歴史のある欄ですからね・・・。」というAさん特有の脅しに負けてワープロに向かっていくところです。

何を書こうか迷っている時にふと、「提言書」なるものが頭にうかんだ。今現在まだ手もとにはないが、これが発行されるころには皆さんの手もとに渡っているだろう。今後の中央会のあり方について、中長期ビジョン検討委員会で検討し、まとめた「提言書」が藤居前会長から阿部新会長に託される。

提言内容については会員の中には反対意見の方もいると思うが、何せ大所帯の中央会、全員の納得する意見にはまとまらないだろう。また、今までにも何度かアンケートを取った事もあったがその結果がなかなか反映されず会員の中には「今回もか?」といった思いもある。

この大多数の意見の集約された「提言書」を今後阿部新会長がどう反映させるのか。全てを反映することは無理だろうが、一つも反映されないとすると、会員の中に「またか」といった思いが広がり活性化どころか逆に沈滞化してしまいうる。

とにかく、今後の阿部新体制がどのようにこの「提言書」を反映させていくのか見守っていきたい。

[きのこ]

「責任ある 活動」

— MORE ACTIVE —

雄 飛

第21号 1995.8.7(月)

●発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 ●編集責任者：足立 聡 ●会員数：146
●会長：阿部 信行 ●印 刷：東京印刷株

ごあいさつ



「責任ある 活動」

MORE ACTIVE

会長 阿部 信行

西部青年中央会も昨年二十歳の成人式を迎える儀式の一年を終え、本年よりいよいよ社会人の仲間入りと自覚する時がここに来ました。いままでの当会の活動を振り返るとき、それはいつも素晴らしい光に輝いたものであったと深く感銘を受け、時の執行部をはじめ先輩諸兄の活動に心より敬意を抱きます。

今期21日目に足を踏み入れるとき、ちょうど卒業生がリクルート姿で社会に羽ばたくように、我々も今一度襟を正し、新たな年になにをしなければいけないのかを各々が真剣に考えなければいけません。

「責任ある活動」この意味は、もちろんのこと過去20年



副会長 森尾 邦夫

卒業を来年に控え今の心境は、お礼奉公の気持ちです。

そう優良会員でもなかった私に、最後にこういう機会を与えていただきました会長に感謝いたします。

担当委員会は社会文化委員会と経営投資委員会でそれぞれユニークな運営をされるよう期待と共に楽しみです。

今年度は20周年の後を受け新たな出発の年であり、種々の改革もあることが予想されますが、私なりに精一杯の努力をし、1年を楽しみたいと思っています。



副会長 松本 啓

本年度は阿部会長のもとで新たなステージに向かっての幕開けの年であります。西部青年中央会に脈々と受け継がれて来た英知・友愛・団結の良き伝統を継承し、その土台の上に新たな歴史を築いていくスタートの年であります。

世の中の変革と同様に、会員の意識も多様化しているようですが、中央会活動にあつては、会長の提唱されている「責任ある活動」を会員一人一人が心がけていく必要があると感じています。微力ですがこの一年会長を補佐し精一杯つとめたいと思っています。宜しくお願い致します。



副会長 秋田 導秀

このたび副会長に就任することになりました。当会もここ数年で大きく変わってきたとおもいます。怖い先輩が大勢いて年数の浅い会員に睨みをきかせるといった感じは過去のこと。阿部会長のおっしゃるよう

大人として地域社会に対する責任と、派遣する会社に対して貢献できるような団体活動を行っていきたく思います。私は政治行政と地域ビジョンの2委員会を担当しますが、その他魅力的な委員会ばかりで、今年も楽しみにしています。頑張ろうではなく、楽しみましよう野茂のように。



副会長 足立 聡

今年度、阿部会長の下で副会長を務めさせていただくこととなりました。中央会に入会して8年、これまで先輩の皆さんから教えられた多くのことの一部でもお返し

できればと思っております。また、阿部会長の活動方針にもあるように中央会で得たものをそれぞれの企業、地域に還元できるよう、皆さんと一緒に頑張りたいと思っております。よろしくお願い致します。

これからの一年 新委員長の抱負

政治行政委員会 倉敷裕史

平成7年度、政治行政委員長をさせていただき事になりました倉敷裕史です。

青年中央会と政治の関わりを中心に委員会の皆様と勉強していきたいと思っています。

行政については、西部広域行政の持つ難問題を深く掘りさげて考え、住み良い鳥取県西部を作っていく手助けになればと意気込んでおります。

委員会活動は、友愛を第1に私自身最後の年を燃焼したいと思っておりますので、一年間、何とぞよろしくお願い致します。

社会文化委員会 梅林広志

当委員会としては、年間テーマとして教育問題、特にいじめ等について皆で勉強していきたいと考えております。

ただ、勉強も大いにやりますが、望月、安部両副委員長をはじめ委員の方のご協力をいただき、とにかく一年間楽しく和気あいあい（友愛、団結）を旨として委員会運営をやりたいと思います。

私自身中央会最後の年ですので、大輪の花火とはいかないまでも、多少でも有終の美を飾れるよう精一杯努力してみたいと思いますので協力よろしくお願いいたします。

地域ビジョン委員会 長谷川義明

近頃、中央会の仲間からよく「今年は大変だな。」と声をかけられる。「そうか、大変だったんだ。」と今更思い返し、委員会のメンバーを眺めれば、藤居直前を始め役員経験者で無い人を探す方が難しいではないか。阿部新年度会長からお電話をいただいた時、二つ返事で引き受けてしまった自分の軽率さが、悔やまれる。とは言えいまださすんだ事はどうしようもない。「まっ、いいかー。」と言うのが現在の心境である。私は、良く小理屈をこねまわすので一見、頭が良いように誤解されるが、実は軽いのだ。『そうだ、「人から非難されてはいけない。」と思うから大変なので、一生懸命、自分に恥じる所が無ければ自分で自分に「それでよし。」をあげればいいんだ。よしよし、どうぞせなら大きく風呂敷を掛けて見よう。』などと、自分に言い聞かせる今日この頃であります。と言うのも私が生まれ育った街は全国でも有名な公害の街なのである。人口密度も全国のトップレベル、いまだ30万都市を目指す。などと言われてもあまりピンとこないのだ。それより古代に交通の要所であり、歴史文化の中心地であった我等のこの地域に古代の繁栄を取り戻すくらいの意気込みで物事を考えて行きたい物だ。何故、古代において我等の地は日本の中心地だったのか？その頃栄えていた街（当時は国と呼んでいたのだろうか？）はどこだったのか？を考えると、今まさに条件が揃いつつあると思うのだ。15年以上前、日本からヨーロッパへ3時間半で飛ぶ旅客機を開発中だと言う話を聞いた。ついこの前その機体の就航に必要な空港の条件と言う話を聞いた。表面効果翼艇と言う我々にとって画期的な船が開発されつつあると言うお話を例会で伺った。地域ビジョンと言う、自分達の将来や子供達の未来の為の物語を想像するなかで、古代の繁栄を未来に託すくらいのロマンがあっても良いのではないかと私は思う。

経済委員会 浜田一哉

この度、経済委員長に任命されました浜田です。昨年度副委員長をさせて頂いた際、「次は委員長をしてもうけんそん時はまた頼むで！」と西山前副会長、私もその時は、飲んだ席の事でしたので、冗談半分にか受け止めていなかったもので、正直言いまして、今だ当惑して居ります。この会に入会して4年生の私ですが、組織の成り立ち、運営の仕組み等あまり解りませんでした。が、会に出席し、諸先輩やOBの方々や接する機会が増す度に、この会が自分にもたらしてくれる意義が少しずつ解って来たような気がします。紛れもなくそれが「英知・友愛・団結」であります。この中でも特に「友愛」の2文字を掲げて、一年間頑張っていきたいと思っております。委員の皆様どうかよろしくお願い致します。

経済投資委員会 門脇直己

このたび経営投資委員会の委員長をさせていただきます門脇でございます。よろしくお願ひ致します。私がまずこの委員会名を聞かされたとき感じたことは、「えらく難しそうなテーマだな。」ということです。最近この新委員会のメンバーの方々や、他の会員の皆さんからも言われることは、やはり「難しいことをする委員会らしい」ということでもあります。確かに一言で言えないほど大きなテーマであります。逆に考えると大きなテーマであるがゆえに何をやっても良いのではないかと最近私は気楽に考えるようにしています。我々青年中央会のメンバーは“若手”であるがゆえに経営者・管理者として未完成的な部分が多々あります。まず最初は経営者・管理者として基本的な部分で「本当は知らないのだけれど、いまだに恥ずかしくて誰にも聞けない」といったようなことから始め、とにかく身に付くことを取り組んでゆきたいと思っております。そして委員会の方向性、運営等については委員会のメンバーの皆さんと一緒に考え、“走りながら”考えてゆきたいとおもいます。何卒皆様のご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

情報メディア委員会 渡部光典

10ヶ月前にDOS-V機ということで米国C社のパソコンを購入した。CPUはちょっとぜいたくをしてDX-4にした。ところが今雑誌を見てみるとペンティアムがかなり安い値段で販売されており、まだ一年経つか経たないかという程なのに改めてその進化の早さに驚いてしまう。

また4日前には手元に日経マルチメディアという雑誌が届きページをめくってみると出て来るわ最新情報がびっしり。それを読み取るためのポキャプラーが不足している私には正確に内容を把握することはできないが、すごいことが書いてあるなーということはいまひしと伝わってくる。パンドラの箱を開けた瞬間というのはこんなのだろうか。

とにかく、日夜仕事とネオン街を徘徊することに忙しい会員諸兄にとって、このおびただしい情報の中に身を投じることは半ば死に追いやることに等しい。というのは、言いつぎとしてもそれを退け、その人にとって必要な栄養分のみをピックアップして処方するのがわが情報メディア委員会の役目ではないかと思う。

コンピュータは話しを聞くより実際に見たり触ったりした方が面白い。だから委員会は実演を中心にやっていきたい。また事例研究として実際にやっている企業訪問等もしていきたい。

とにかく実際に皆様のお役に立つ委員会を目指していきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

広報委員会 樋口一夫

私が入会した時のフレッシュ委員長が、松岡晃さんでした。大変かっこよく、行動力があり、ああいう人が、委員長をするのだなと思っておりました（広報メンバーのため多少ゴマすりあり）。

自分がその立場になり、責任を強く感じております。大変だとよく言われる広報委員会ですが、やみくもに出発した7月委員会で、雄飛の打合せをした時、これならやれると実感いたしました。本当に素晴らしいメンバーを選んでいただき、感謝しております。

責任ある行動＝責任ある広報活動をモットーにし、内外に中央会をアピール出来るハンサム、特に各委員会活動の報告について工夫していきたいと思っております。

微力な私ですが、メンバーの皆様や、足立副会長の助けを借りながら、一年間楽しもうと思っております、どうかよろしくお願い致します。

総務委員会 市位清明

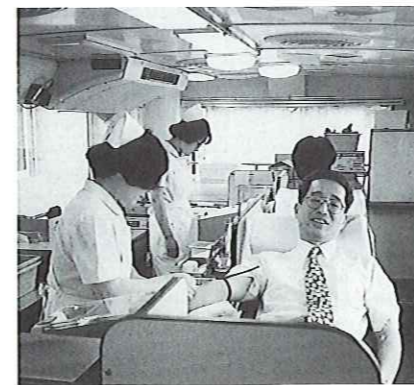
この度総務委員長を拝命致しました市位です。今年度の総務委員会は「結束」をメインテーマに、まじめにそして真剣に中央会の“楽しさ”を委員会メンバーとともども考え実行していきたいと思っております。具体的な活動としては忘年会、4月レクリエーション例会の担当などがありますが、会員相互のコミュニケーションをはかる目的で同好会組織の結成、委員会対抗のスポーツイベント等企画していきたいと思っております。あげることやりたい、こげることやりたい、ご要望お待ちしております。委員の皆様今年度一年間ご協力よろしくお願い申し上げます。

平成7年度 鳥取県中小企業青年中央会通常総会と20周年記念式典、パーティー開催

平成7年度鳥取県中小企業青年中央会の通常総会が7月22日（土）、ホテルサンルート米子に於いて124名の出席で開催された。

総会は「この一年間、大変いい経験をさせて頂きました」という角田県会長の挨拶に始まり、議長に角田県会長を選出し、議事の審議に移った。

- 1号議案＝平成6年度事業報告及び収支決算報告
- 2号議案＝平成7年度事業報告及び収支決算（案）
- 3号議案＝任期満了に伴う役員改選について、審議がなされ満場の拍手で承認された。



平成7年度通常総会に引き続き、20周年記念式典とパーティーが開催され、「過去そして未来へ—我ら翔たかん21世紀の扉の前に。」のテーマのもと、油谷7年度会長の開会宣言で厳粛な雰囲気の中に幕を開けた。角田6年度会長の挨拶の後、斧谷親会会長から角田、油谷、森、藤居の6年度県、東中西部会長に盾が贈呈された。斧谷親会会長からは、円高や産業の空洞化で困難な状況を乗り越えるには創造と変革が必要で、そのために英知、創意、行動力が不可欠であるとの言葉を頂いた。森田米子市長からは、若い皆様に頑張ってもらいたいとのユーモア溢れる祝辞を頂戴した。その後、スライドを使い、フリーアナウンサーの山本田起子さんのナレーションで11～20代の歴代会長の紹介があった後、新デザインの中央会旗の披露をもって閉会した。引き続き行われたパーティーでは角田前会長から油谷新会長へ鍵の引き渡しがあり、鍵の引き渡しを受けた油谷新会長は基本方



次いで、新会長に選任された東部の湯谷会長より「会員数減少傾向の中、会員の皆さんにもっともっと頑張って活動してもらい、優秀な会員に入会して頂き、会の発展を促していきたい」との抱負が述べられた。

尚、総会に先立って行われた20周年記念献血では、400cc献血18名、200cc献血18名、部外者2名という結果でした。御協力ありがとうございました。



針の“研鑽と責任”を掲げ力強い挨拶を行った。来賓には参院選を明日に控え多忙を極める野坂、坂野、相沢氏及び石破夫人にお越し頂き、祝辞を頂いた。野坂大臣を中心にした鏡割りの後パーティー本番となり、勇壮なる境港大漁太鼓の鳴り響く中、とれたてのマグロの解体の実演があり、その慣れた手捌きに会場からは感嘆の声が挙がった。引き続き東中西部から指名された10名の会員、OBの方々により刺身にしてもらい全員でいただくという趣向であったが、包丁さばきも鮮やかな人もいれば四苦八苦の人もおられ、盛大な中にも和やかな雰囲気の中にパーティーは終了した。



高石ともや トライアスロン皆生大会を語る

「皆生は、いいな〜」の一言からそれは始まった。それとは去るトライアスロン皆生大会前日7月22日ひさご家で行なった高石ともや氏へのインタビューである。真黒に日焼けされた高石氏を目前にし、まさに機関車のごとくエネルギッシュな風格を感じ圧倒されつつお話を伺いました。

第一回大会優勝者であり、皆生を心より愛される高石氏は、皆生大会は人間らしい大会であり本当にトライアスロンが大好きな選手ばかりが参加される大会である。どうしてなのか考えた時それは、米子皆生という風土であり、そこに住む人々の心が選手個人個人にあたたかく受け取られていると思う。皆生大会は故郷であり待っている人がいるから帰りたいという感じであり、ここにはトライアスロン大会はこうであるという原点がある。つまり、日本での発祥地、大会運営の方法、選手への接し方、ボランティア等々住民が主体となった手作り大会である。現在全国で数多くの大会が計画実施されているが、商品化された大会ではなく、豊かな心で支えられた固定化の大会でなくてはならないと高石氏は強調されました。

高石氏は自分自身30代40代では人の心は判らなかつたが今54才という歳を迎え漸く判るようになった。正に成長であり、時の流れの重大



野鳥 功 気温34℃を記録した蒸暑い1日、全国から集った鉄人たちに暖かいご声援をいただき、本当にありがとうございました。いつも、感謝の気持ちで一杯なのですが、在来りな言葉しか出ないのが非常にもどかしいところです。

コース上で多くの会員の皆さんに、ご声援いただいたのですが、何分ランニング後半に完全にバテてしまい、その励ましに応えることができずでした。紙面を借りてお詫びいたします。皆生大会も非常にレベルアップして全国大会に相応しい大会となりました。今後とも、全国に誇れる大会開催に向けて、ご支援いただけますようお願い致します。



和田健二

暑い長い一日が無事終わった。というのが実感です。1800名以上の出場希望者中より選んでいただいた以上、最高のコンディションで参加する事が、最低のマナーと出来る限り練習を積んで参加させていただきました。又今年は、自分自身にとっても10回目出場と節目の大会でもありました。

レース中、中央会のスタッフの方、ボランティアの方々より温かい声援を沢山いただいた事が、自分自身を完全燃焼させることができた大きな要因だと感じております。いつもながら中央会の方々の温かいご声援のお蔭で完走できたことに感謝し、報告とさせていただきます。ありがとうございます。

トライアスロンを振り返って

長谷川一成

一番気掛かりだったスイムは、持てる水泳技術を全て駆使し(クロール、平泳ぎ、立泳ぎ、横泳ぎ等々)、何とか勢いで乗り切ることができました。

続くバイクは上っても上ってもやってくる上り坂の連続に、もうええかげんにせいと叫びながら歯をくいしばって無我夢中で漕ぎ続けました。中山を折り返してからは、足を残すことはかり考えていました。想像以上にタフなコースでした。

そして、ランです。今振り返ると一番辛かったのがランでした。15km地点までは快調だった足も悲鳴を上げだし、境の折り返しで充分休んでおいても、パンパンの足と水でふやけてグチュグチュの足の裏は悲鳴を上げ続けます。30km地点を過ぎたあたりからそんなことはもうどうでも良くなってきて、とにかく茫然と進み続けました。そして、最後の直線に入った時、たくさんの人の顔と色々な思いが本気に走馬灯の様に心に浮かんで、人生最高の気分でした。

トライアスロンと係わって4年、遂に夢を果たすことができました。今、何とも言えぬ達成感と充実感で満たされています。



さを感じ日々ライフスタイルの中に然り気無くトライアスロンの練習を少しずつ入れあて10年続けて必ずやハワイ大会へ出場するのが夢であると語られた。トライアスロン競技は、体力のみならずスピリット(精神)で行なうスポーツである。つまり平均的な力を発揮し、3種目やりこなす力及びそれをやり遂げようとする強固な精神力である。何れかというこのスピリット(精神)の方が重要である。

最後に、高石氏は確かに物事を始めようとするは大変難しいことであり始めようとする行動者には声援をおくってほしい、断じてからかたり野次を言わないでほしいと真剣な口調で話された。

取材に心よく対応していただきました高石ともや氏へ感謝を申し上げます。又、調整をいただいたひさご家さん、木山OB、関係各位に深く御礼申し上げます。ありがとうございました。(広報:近岡)



松岡正高

19時28分12秒 ゴール!暑くて長い一日でした。激励会では、みなさんの 生きて帰ってこいよ!の言葉通りなんとか完走しました。

先年の冬、5キロ体重が増えたのを減らそうと4月からランニングを始め11ヶ月後にフル・マラソンを完走したので、大会に出場できるのではないかと思ひ始めました。

締切日、ちゅうちょしていたら、長谷川君が申し込んだと聞き、夕方、駆け込みで申込みをしました。始めは、出場できるという興奮感から何時間で帰る、何位くらいか、だれそれには勝ちたいと楽しみでしたけれども、出場通知書が届いたころから、完走できるだろうか、申込んだのは間違いないかと思ひ始めました。大会10日前ごろから1分前にゴールすればいいんだと思ひ始めたら逆に緊張感のないまま大会に臨むことができました。

当日4:20起床、トイレ食事OK、5:20会場着、水泳の確認(一回しか着用していないウェットスーツがむだになるので)6:40送行会、7:00水泳スタート、コースを何度も離脱しそれを修正しながら完泳8時16分21秒。

まず一つクリア、バイクラックを見たらガラガラひとはひとと思ひマイペースで着がえASで軽く食事をし、自転車コースに出る。むりをしたらマラソンに響くので、自戒し、水食料をしっかり取り体を冷やし、なんとか14時0分13秒着。

マラソンは全コース歩いて帰られる時間と思ひほっとする。着がえまずASで食事・休憩しゆっくりとコースに出ました。足は思ったより疲れがなくて走ることができました。境港市役所ASまでは走って行かないと後でいろいろ言われると思ひ。東亜青果ASで会員のあったかい声援を受け、岡田石油AS、OB中村さん他会員がいるので休養し、しんかわストア(多賀君)の私設ASで立止まり、やっと着いた境港市役所ASでは、会員の声援を受け名物いわし団子汁をいただきしっかりと休養し復路を急ぎました。帰りに各ASでしっかりと飲食を取り水をかけていただき、特にしんかわ私設AS、岡田石油AS、東亜青果ASではしっかりと休養を取りやっとのことで完走しました。

最後になりましたが、大会のスタッフ、各AS、各ポイントのボランティアに参加されましたみなさん暑さのなか一日中ごろうさまでした。音田マラソン部長以下マラソン部のみなさんには、めいわくをかけた。そして柴谷君家族の手作りの応援幕、会員のみなさんの声援がありがたく感じました。みなさんの応援があったこそソリタイアしなくて完走できました。ありがとうございます。

●●●●●●●●●● 新入会員の紹介 ●●●●●●●●●●

新入会員カルテ

氏名:上野正志
企業名:堀田石油株式会社
趣味:ゴルフ 血液型:O
症状及び所見:



この度、青年中央会に入会させて頂くことになりました上野正志です。名は体を表わすと言われます。私の場合も「正しい志し」を持って何事にも取組もうと心掛けておりますが、様々な誘惑についてい流され、天を仰ぐ時も数多くございます。こんな男ですが、諸先輩の御指導を頂き、少しでもお役に立つよう、精進して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

新入会員カルテ

氏名:高田孝志
企業名:有限会社高田ゴム工業
趣味: 血液型:B
症状及び所見:



この度、吹野さん、桑垣さんのご紹介で入会させて頂くことになりました高田です。入会するに当たり、色々不安もありましたが、諸先輩に色々お話をきき、やってみようという気持ちと、やっていけるのかなという気持ちが入りまじり悩みもしました。しかし入会すると決めた以上、すべての行事に積極的に参加し、自分自身の向上にも努め、一生懸命頑張ってやろうと思っております。

新入会員カルテ

氏名:平野忠司
企業名:株式会社環テック
趣味:磯・船釣 血液型:O
症状及び所見:



この度、湯原様・石谷様の紹介で入会させて頂くことと成り、心より御礼申し上げます。私は、本年1月に設立・4月より創業した美保土建(株)の11番目のグループ会社、(株)環テックの工務部を担当しております。今迄、ハードな分野の仕事ばかりでしたが今後のためにもソフトの分野も多少なりと習得する時期と思っております。また、本業を忘れない程度に、皆様の足手まといとならないよう、中央会の役に立つ行動をとってゆきたいと思っております。尚、趣味でも伝えたように釣バカで、ゴルフは音痴の私ですが宜しくお願い致します。

新入会員カルテ

氏名:浜義徳
企業名:浜水産株式会社
趣味:スポーツ 血液型:O
症状及び所見:



私はこの度、岩田様と景川様のご推薦により青年中央会に入会させて頂くことになりました浜義徳です。住まいは境港市で母と妻と一姫三太郎の子供たちの七人家族で賑やかに暮らしております。仕事は浜水産株式会社で魚介類の販売を主な業務としております。今年度の境港市は漁獲の大幅なダウンに困窮している状況で、各方面においても様々な模索が行われている処であります。私としても当会に入会させて頂くことにより各分野で活躍されている方々との交流をおして見聞を広め、自己啓発に努める所存です。当会の方は何もわかりませんが何事にも前向きに真面目に取り組むので諸先輩方のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

新入会員カルテ

氏名:羽原俊二
企業名:三井生命保険(株) 米子営業所長
趣味:球技(バチンコ、サッカー等) 血液型:A
症状及び所見:



この度、西部青年中央会への入会をご承認頂き、誠に有難うございます。青年中央会のご活躍を日頃からお聞きしておりましたが、西部地区発展の為に努力されている姿を拝見させて頂き、一層先輩諸氏のご努力に感動させられました。若輩者ではありますが、一生懸命努力する所存であります。何卒ご指導、ご鞭撻の程、宜敷くお願い致します。

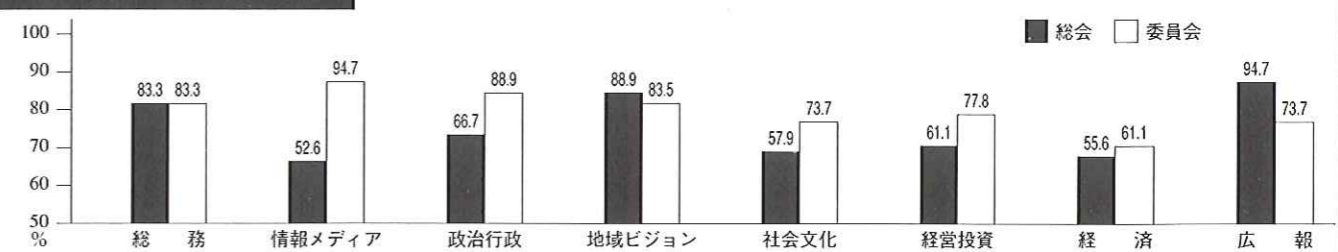
新入会員カルテ

氏名:大森茂樹
企業名:中国銀行 米子支店
趣味:ボクシング観賞 血液型:B
症状及び所見:



この度、西部青年中央会に入会員として入会させて頂くことになりました。中国銀行の大森茂樹です。中国銀行は「バンク・オブ・チャイナ」ではなく、岡山に本店をもつ地方銀行であり、一平成5年5月に、山陰初の店舗として、米子支店をオープン致しました。開設準備に平成5年1月より、当地へ赴任し、いきなり大雪でびっくりしたことが思い出されます。今ではすっかり当地の生活に慣れ、家族共々、楽しくすごしております。今後いっそう山陽・四国間との交流が増えてくる中、当会に入会させて頂くことによって、多くの方々とも知り合うことが、陰陽の橋渡しの役に少しでも役立てばと、考えております。宜しくお願い致します。

委員会報告



委員会報告については、ほとんどの委員会が顔合せ会のために、次回ハンサムより、お楽しみに。



15th KAIKE TRIATHLON

特集

第15回 全日本トライアスロン皆生大会

…大会を終えて… 松岡 晃
大会2・3日前の集中豪雨、大会当日々と夜の明ける頃、関係者の人と水泳スタート場所に赴き、海を見て「これなら水泳が出来る」と思いながらも、潮の流れがかなり早いが大丈夫だろうか等、色々話しが出る内、水泳競技OKを決定しました。第15回記念大会がこれといった事故、トラブルもなく大成功の内に終えることが出来ましたことは、西部青年中央会会員の皆様方の絶大な御協力を頂きましたおかげだと思っております。本当に有難うございました。

記念大会の取り組みとして記念事業委員会を設立し、委員会内で次の事項を決定遂行して頂きました。

- ①皆生大会のロゴマークの決定
- ②24名の選手招待
- ③高石ともや氏による一般ボランティアと選手のふれあいミニコンサート
- ④皆生大会のテーマソング作成
- ⑤ゴール前の観覧席の設立

おかげ様で大変盛り上がった大会となりました。又、昨年に引き続き警察の方々の協力により、バイクコースでの交通指導をして頂き競技運営が速やかに行われ、選手側からも大変好評を得る事が出来ました。その上、今回は鳥取県からも御協力頂き、我々



マラソン部長：音田 猛

まずは、副部長以下スタッフ及び、大会前日まで協力して頂きました有志の皆様、ご苦労さまでした。

今年は、マラソン折返し（境小から境港市役所に）変更し、マラソン部スタッフに例年になく、大変忙しい思いをさせました。第15回全日本トライアスロン皆生（記念）大会の、マラソンコース上で、

大きな事故も問題もなく終えたのも、6月初めから、大会当日までスタッフそして有志のみなさまの準備作業の結果と、大会翌日の跡片付に協力して頂いたお陰だと思っています。第15回全日本トライアスロン皆生（記念）大会は、私にとっても、マラソン部スタッフに参加して5年目の記念大会となります。そして、この記念大会に部長という大役を任されて、良い経験をさせて頂きました。私が初めてスタッフとして参加したときは、先輩の皆様がこんな大変は仕事をされているのだなと思い、私には、お手伝い出来るのだろうかと思っていました。何も分からないまま手伝いをしながら、大会当日を迎え、選手の皆様が完走された姿を見て感激し、私のしている仕事はまだ楽なものだと思ひ、私の出来ることはこれしかない、今日の日まで来ています。そして青年中央会の委員会活動にある、英知・友愛・団結が出来ました。会員の皆様、大会当日時間がありましたら、大会本部に来られまして、選手の感激のゴールを見学して下さい。そして、会員の皆様が、エードステーション及び各ポイントを受け持たれましたら、交通整理だけではなく、もっと大会を楽しみ、盛り上げて下さい。次年度は、もっと皆様が参加する大会にしましょう。

最後に、西部青年中央会で、大会にエントリーされた、野嶋会員（581名中195位）、和田会員（243位）、初参加の松岡正高会員（469位）、長谷川一成会員（496位）、順位ではなく「完走」おめでとうございます。

が目指す所の県上げての大会に1歩も2歩も前進があった大会であらうと思います。

そして、我が青年中央会からは、東部より1名、中部より1名、西部より4名の方々が選手として参加頂き、本当に青年中央会でも県を上げてトライアスロン大会に取り組む事が出来たと確信致しております。

西部会員4名中2名（松岡正高君・長谷川一成君）が無名の如き出場し、見事立派な成績で完走され、他の会員に、「何事も努力すれば自分にも参加出来る」という夢と希望を与えてくれたのではないのでしょうか。

今、私の方に会員3名の人から第16回大会に参加したいと申し出がありますが、その他の会員1人でも多くのチャレンジ精神を期待しております。

最後になりましたが、選手の人を温かく迎えて応援頂きました東亜A S・境港A Sのボランティアの方々、暑い1日大変御苦勞様でした。

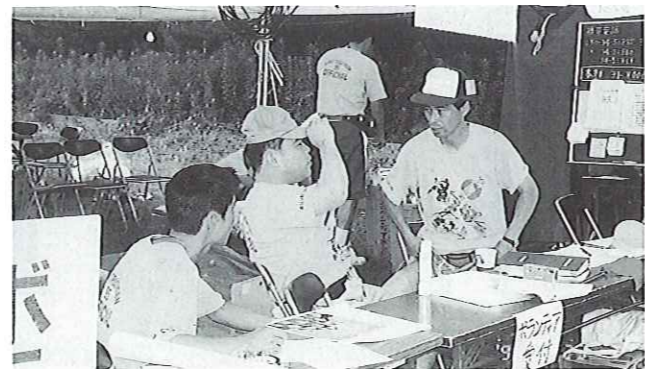
ボランティア部長：石谷 勝

先ずは、会員及び本部派遣のスタッフの皆様へ御礼申し上げます。

今大会は記念大会でもあり、本部では様々なイベントの提案検討が行われました。ボランティア部では、ボランティアに参加して頂いている方々へ、何か思い出になるものを、感謝を込めて実施したいということになりました。具体的な内容については、活発に意見が交換されました。その中で、ボランティア活動の原点を再度認識する機会にも出会いました。企画としては、ボランティアの方々の活動を写真撮影し、無料で提供することにしました。限られたスタッフでポイントに配置されている方々全員を撮影することは想像以上に難しかったようです。皆様に充分満足して頂ける結果とはなりません、スタッフの意気を御理解願います。

尚、当スタッフ写真は閉会式会場、その後皆生観光センターにて掲示させて頂きました。今後もボランティアの意義を忘れず、本大会を支えて頂く様に御願致します。そして、私感で恐縮ですが、長谷川会員の完走によって私も報われた大会であったことを付記します。

皆様、本当にありがとうございました。



東亜エードステーション

森永 修二

吹き出る汗、胸を衝く感動をそして熱き涙。皆生トライアスロンと共に我々青年中央会の夏もやって来ました。

心配していました台風の影響も無く、皆生海岸で水泳が無事スタートしたのを見届けた後、東亜ADの設営にかかりました。毎年恒例とは言え、11時には手際よくスタンバイをストップランナーが来るのを待ちました。本部からの連絡で「野嶋選手只今スタート。続いて和田選手スタート」の報が入ると皆、「ヨッシャ！」と受け入れの準備にも自ら気合いが入ります。暫くした後、本部より「松岡、長谷川両選手0時頃東亜AD通過予定」の報を受けると、皆「オッ！意外と早いな」とADの雰囲気も和みました。

選手と一体となって声援を送ると言うことは、正しく、さわやかな感動を共有することでした。

只、反省すべきことも2～3あります。本部派遣とADとの人員の調整。事前の早日の準備と会員全員の意志統一。……等々。しかし、「感動を共有する」と言う気があれば、少々の事は乗り



境港エードステーション

足立 聡

今回境港折返しは今迄の境小学校から境港市役所に変わり、ポイント数も9箇所持つことになりました。事前に境港市役所、鳥取銀行の方とイワシ団子汁や受け持ちポイントについて打ち合わせを行い、当日を迎えました。

心配した天候も回復し、11時半に市役所に集合し準備を終えて一服していると通信部からトップランナーがいつもより30分早いとの連絡が入り、急いでそれぞれの持ち場につきました。

今年は暑さのため砕いた氷を要求する選手が多く、おかげで氷を小さく砕く作業が大変で何名かの負傷者（切り傷程度ですが）も出ました。また、名物のイワシ団子汁も暑さのせいか選手にはもう一つでしたが、なかには「団子汁が楽しみでここまで来ました」と言う選手もあり、来年もまた頑張って作らなくてはと思いました。

元気に出発する選手、疲れながらもゴールに向かう選手、体調が悪くリタイアする選手、残念



越えられると思いますので、後は来年度に引き継ぎます。

東亜ADを支えてくれた西部メンバーの皆様おつかれさまでした。又、東部、中部の会員の皆様にも大変お世話になりました。そして、ボランティアの皆様ありがとうございました。

最後に東亜青果様と多くの皆様の協力で長い1日を無事終えることができましたことを心より感謝申し上げます。



ながらタイムオーバーで失格となった選手等いろいろな選手との出会いがありようやく一日が終わりました。

参加していただいたボランティアの皆さんのおかげで無事大任を果たすことができました、ご協力していただき有難うございました。

